

～乳がんの早期発見に検診を～

乳がんは女性のがん死亡の上位の疾患です。乳がんは早期発見すれば、生存率が高いがんです。乳がんの初期は気づきにくいいため、乳房の自己検診と合わせて2年に1回のマンモグラフィ（乳房のエックス線撮影）が早期発見のためには重要です。乳房のしこりなど自覚症状がある場合はすぐ医療機関を受診しましょう。

※マンモグラフィによる乳がん検診は、死亡率減少効果があることが認められていますが、100%の精度ではありません。がん検診で必ずがんが見つけれられるわけではないこと（偽陰性）、がんがなくても検診の結果が「陽性」となる場合もあること（偽陽性）、がん検診で見つかったがんが「治療しなくても死亡の原因にならない」場合があること（過剰診断）などをよく理解したうえで、正しい知識を持ってがん検診を受診してください。

乳がん検診の方法

検診の検査項目は、問診及びマンモグラフィ（乳房のエックス線撮影）です。問診に当たっては、現在の症状、月経及び妊娠に関する事項、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取します。マンモグラフィ（乳房エックス線検査）は、専用のX線撮影装置で、乳房を上下、左右からはさんで撮影を行います。

検診結果・精密検査の方法

<精密検査不要>

検査の結果、その時点では、「精密検査の必要がない」という意味です。今回異常がなくても、定期的に検診を受けましょう。

<要精密検査>

要精密検査とされた方は、乳腺科のある医療機関で精密検査を必ず受けましょう。マンモグラフィの追加撮影や超音波検査を行います。その検査結果により、細胞診や組織診などを実施する場合があります。どちらの検査を行うかは、部位や性質によって異なります。

※精密検査の結果は個人情報保護法の例外事項であり、個人の同意がなくても依頼のあった自治体へ報告することとなっております。

乳房の自己検査（視診、触診）

身体の表面に近い部分に発生する乳がんは、自分でも見つけれられることがあります。2年に1回のがん検診に加えて、月1回日にちを決めて自己視診・触診の習慣をつけましょう。

乳がんの原因と予防

食生活が脂肪分の多い欧米的なものになってきたことや、また晩婚化、少子化などライフスタイルの変化で、ホルモンバランスが変わってきていることも原因と考えられます。適度な運動とストレス解消、バランスのとれた食生活を心がけましょう。

部位別がん死亡数の順位

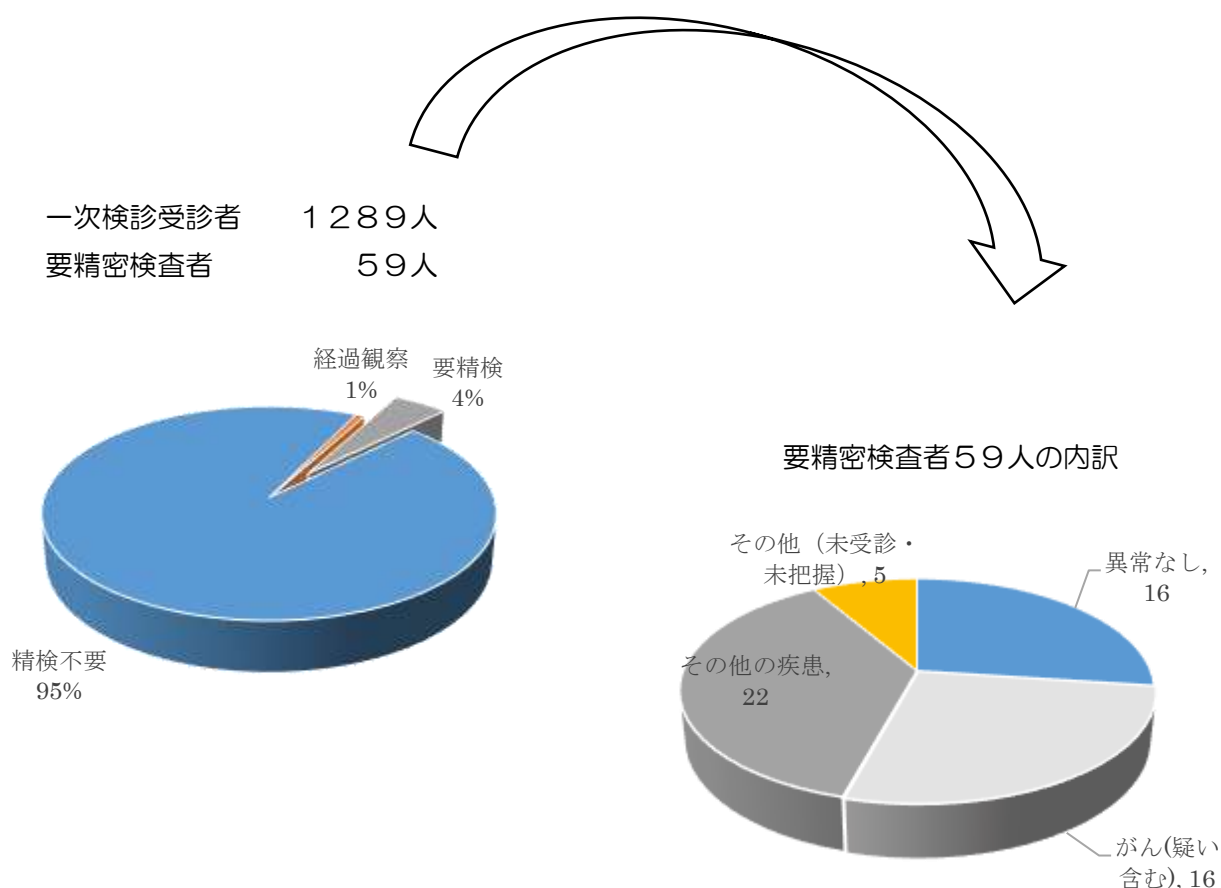
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
女	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

資料:がんの統計 2026(公益財団法人 がん研究振興財団 発行)

※東大和市では令和6年中に13人の方が乳がん命を落としています。

令和7年度東大和市における乳がん検診実施状況

東大和市で乳がん検診を受診した1289人のうち、検診結果で要精密検査となった方は59人でした。精密検査を受診した方の結果は、乳がん(疑い含む)16人、その他の疾患22人、異常なし16人でした。



お問い合わせ：東大和市健幸福祉部健康推進課成人保健係（東大和市立保健センター内）
電話：042-565-5211（月～金 9時～17時）